



校長室だより

第 7 号

令和3年5月19日(水)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

笑顔があふれた運動会

15日(土)に運動会を開催できました。昨年はコロナ禍でやむを得ず中止し、2年ぶりとなる運動会は、天気が大きな味方をしてくれました。私自身、風もほとんどなく、快晴に恵まれた運動会はしばらくぶりでした。

コロナ禍で、検温・消毒、子供たちの健康管理、体操着の洗濯等、運動会当日も、密を避ける工夫をしていただいたり、声を出さずに大きな拍手をしていただいたりしました。また、前日や当日の朝の準備、健康チェック、広報活動、最後の後片付けなど、保護者の皆さまにはたくさんの御理解および御協力をいただきました。おかげさまで、大成功にて運動会を終えることができました。本当にありがとうございました。

開会のことばでもお話ししましたが、運動会を実施するにあたって、今年はどうすればできるだろうと、先生方で何度も話し合いました。いろいろと案を出し合い、この現状でできる最大限のことを考えました。その結果、今年のような運動会にすることにしました。

運動会に向けての練習は、実質ゴールデンウィーク明けから10日ほどでしたが、子供たちは集中して練習に取り組んでいました。

当日の徒競走では、スタート前の緊張感の中、キリッと引き締まった顔を見ることができました。ゴールした後、走り切ったという充実感があつたんだろうなと感じました。賞品を受け取る際に、息を切らせながら、自然と「ありがとうございます。」の言葉が出てきたことが、その表れだと思いました。

学年部ごとの演技も友達と協力してすばらしい演技を見せてくれました。全校児童による「赤白対抗大玉送り」でも、心を一つにして演技していました。接戦の末、白組が勝ちました。すてきな演技を見せてもらったなとうれしくなりました。閉会式で、門田先生からの得点発表での子供たちの表情がとてもよかった。子供らしい、ドキドキ感が伝わってきました。わずかに4点差で、赤組が勝ちましたが、どちらのチームも最後まであきらめずに取り組んだことが、とてもすばらしいと思いました。

演技だけではなく、5・6年生は係の仕事もありました。高学年としての意識をしっかりと持ち、責任をもってやり遂げることができました。係としての練習する時間はほとんどなく、戸惑うこともあったかもしれませんが、さすがぬまっこの高学年だと感心しました。これからもリーダーとして、下の学年をけん引してくれることを期待しています。

子供たちも先生方もみんな心を一つにして、笑顔があふれる思い出に残る運動会となりました。運動会で頑張ったことを次の行事や学習に活かしていきましょう。

